

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 20 日

事業所名 放課後等デイサービス キッズラボ

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|--|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 1 | 5 | | ・店員の広さではあるが、安全性を考えると広いスペースが必要。 ・定員は良いが、児童が遊ぶスペースの関係上、狭いと言える。 |
| | 2 職員の配置数は適切である | 0 | 6 | | ・少ないと感じる ・職員の人数を増やす必要がある。 |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 1 | 5 | | ・庭の環境整備の必要性 ・室内のマットは低反発にする事で転倒時の怪我の予防につながる。 ・耐久性のあるマットに変えた方が良い。 ・段差は無いが、バリアフリー化しているとは言えるとは分らない。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 1 | 5 | | ・日々の朝礼で現状把握や課題抽出を行いながら見直しを図る必要がある。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 4 | 2 | | ・保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向を把握し、改善に努めております。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | 0 | ・インスタグラムに公開している | ・今年度より、会社の公式ホームページで評価と公表を実施します。 |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 0 | 6 | | ・現在は利用者と社内の評価のみとなっており、今後の検討課題としてまいります。 |
| 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 4 | 2 | ・新人研修が会社で定期的に行われたり、事業所内の研修も行っている。 ・外部への研修参加も参加している。 ・全体研修・事業所研修を行っている。 | ・会社内だけではなく、外部研修に参加の呼びかけを行い、今後も支援の質を高めるよう努めています。 | |
| 適切な支援の提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 5 | 1 | | ・保護者と子どもへ面談を行いながら、それぞれのニーズを把握し、日頃の記録、行動分析をもとに個別支援計画の作成を行っています。今後はVineland-2を取り入れていきます。 |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | 1 | | |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | 3 | 3 | ・毎月、前月にどんな活動をするのか話し合い、チームで共有して改善を行っている。 | ・行事予定表を作成する前に、職員間で何をするか話し合う場の設定を行っておりますので今後も継続して行っていきます。 |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | 1 | ・毎月、前月に活動をどうするか決め、児童の案なども取り入れて行っている。 | |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 3 | 3 | ・活動を行うにあたり、手順書を作成し支援の狙いを決めて活動を行っている。 ・長期休暇などは活動を通して、どのような支援をするのか決めている。 | ・活動を行う狙いを定め、支援計画書の作成のもと支援を行っている。児童の課題点を抽出し、平日時も対応を行っているため、今後も継続して対応してまいります。 |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | 0 | | |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | 1 | | ・活動前には打ち合わせを行う事が出来ていますので、今後も継続してまいります。 |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している | 0 | 6 | ・気づいた点は伝えるようにはするが、全体で行えていない。 ・活動の打ち合わせは必ずできている。 | ・活動の打ち合わせは出来ているが、振り返りは全体で行えていないので今後、時間を設けて振り返りの場を設定できるように努めます。 |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 3 | 3 | | ・記録は取っているが、検証と改善は行えていないので、活動後は振り返りを行い、改善が行えるように努めます。 |
| 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 6 | 0 | | ・定期的なモニタリングを行う事が出来ています。 | |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 4 | 2 | | | |
| 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 5 | 1 | | | |
| 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 3 | 3 | | ・学校の先生が出て来られない学校が多くあり、情報共有する事が難しい為、月末に一度でも児童の様子を教えて頂けるよう学校に呼びかけていく。 | |

| | | | | | | |
|--------------|------------|--|----------------------------------|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 1 | 5 | | ・医療的なのか判断できない。 ・医療的ケアの児童さんの預かりを行っていない。(看護師がいない) |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 4 | 2 | | ・アセスメントを行っており、その書類を事前に渡されており、事業所内で話し合いを行っている。 ・放デイを利用する前に担当者会議が行われているため、情報共有は出来ている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 5 | 1 | | ・現在は移行自体がほぼない為、判断不能。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 1 | 5 | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 1 | 5 | | ・地域との交流はない。今後、児童クラブへの訪問などを行い、地域の子も達と関われる機会を設けられるよう検討していきたい。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 3 | 3 | | ・放デイ間の協議会がある度に参加を行っており、情報共有を行っている。 ・地域自立支援協議会への参加は行っていない。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 5 | 1 | | ・日頃の状況は送迎時に伝えるようにしている。 ・子どもの状況、異常があれば保護者に連絡している。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 3 | 3 | | |
| | 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | 0 | |
| 31 | | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | 0 | | |
| 32 | | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 1 | 5 | | ・親子合同行事の設定や親の会を検討していきたい。 ・年に1回会社全体で行っているものの連携を支援しているかどうかは判断できない。 |
| 33 | | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | 0 | | |
| 34 | | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 4 | 2 | | ・定期的に予定表を発行し、LINEや事業所の携帯で連絡がとれるようにして発信しています。 |
| 35 | | 個人情報に十分注意している | 6 | 0 | | |
| 36 | | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 4 | 2 | | ・事業所では配慮出来ているが、自分で出来ているとは言えない。 |
| 37 | | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 0 | 6 | | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 2 | 4 | | ・対応マニュアルもホームページなどに載せて周知した方が良いのではないかな。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 4 | 2 | | ・年に2回、避難訓練を実施している。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | 0 | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 5 | 1 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 0 | 6 | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 1 | 5 | | ・虐待研修と同時に行っている。 |